

平成28年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市ふるさと農園
条例上の設置目的	農林業に対する市民の理解を深めるとともに、いこいの場を提供し、農林業の振興に寄与するため、ふるさと農園を設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	市民が土や自然に親しみ、農産物の生産や加工の実習などを通し、農業に対する理解を深めるため必要な事業の拡充。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	農業に接する機会の少ない市民が農業について学ぶことができ、日本の農村原風景を再現した、いこいの場にふれることにより、農林業に親しみを持つことができる。
制度導入により見込まれる効果	市民サービスの向上効果を見込んでいる。
成果指標※	① 利用者数
数値目標※	① 年間87,000人以上
所管課	経済農政局農政部農政センター農業経営支援課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	千葉みらい農業協同組合・一般社団法人千葉市園芸協会
構成団体 (共同事業体の場合)	千葉みらい農業協同組合(代表団体)
	一般社団法人千葉市園芸協会(構成団体)
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区千葉港5-25
指定期間	平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年)
選定方法	非公募
非公募理由	平成26年7月に策定された千葉市公共施設の見直し方針により、当該施設の役割について見直す必要があることから、指定期間の2年間で当該施設のあり方を検討する。この間、市民サービスの低下を招くことなく、安定的に管理・運営を行うため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H28年度実績	達成率※
利用者数	87,000人	99,672	114.6%
-	-	-	-

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	H28年度実績
-	-
-	-

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H28年度	【参考】 H27年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
指定管理料	実績	44,330	45,230	実績－計画	0
	計画	44,330	45,230	計画－提案	0
	提案	44,330	43,980		
利用料金収入	実績	854	728	実績－計画	104
	計画	750	750	計画－提案	0
	提案	750	950		
その他収入	実績	236	689	実績－計画	66
	計画	170	170	計画－提案	0
	提案	170	90		
合計	実績	45,420	46,647	実績－計画	170
	計画	45,250	46,150	計画－提案	0
	提案	45,250	45,020		

イ 支出

(単位：千円)

費目	H28年度	【参考】 H27年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
人件費	実績	18,759	18,362	実績－計画	△ 2,041
	計画	20,800	20,800	計画－提案	0
	提案	20,800	20,806		
事務費	実績	4,993	5,443	実績－計画	△ 1,727
	計画	6,720	7,450	計画－提案	0
	提案	6,720	7,168		
管理費	実績	4,106	4,356	実績－計画	△ 544
	計画	4,650	4,920	計画－提案	0
	提案	4,650	4,250		
委託費	実績	13,590	13,093	実績－計画	510
	計画	13,080	12,980	計画－提案	0
	提案	13,080	12,796		
その他事業費	実績			実績－計画	0
	計画			計画－提案	0
	提案				
本社費・共通費	実績			実績－計画	0
	計画			計画－提案	0
	提案				
合計	実績	41,448	41,254	実績－計画	△ 3,802
	計画	45,250	46,150	計画－提案	0
	提案	45,250	45,020		

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H28年度	【参考】 H27年度
自主事業収入	実績	547	527
その他収入	実績		
合計	実績	547	527

イ 支出

(単位：千円)

費目		H28年度	【参考】 H27年度
人件費	実績		
事務費	実績		
管理費	実績		
委託費	実績		
使用料	実績	24	24
事業費	実績	504	451
利用料金	実績		
その他事業費	実績		
本社費・共通費	実績		
合計	実績	528	475

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H28年度	【参考】H27年度
必須業務	収入合計	45,420	46,647
	支出合計	41,448	41,254
	収支	3,972	5,393
自主事業	収入合計	547	527
	支出合計	528	475
	収支	19	52
総収入		45,967	47,174
総支出		41,976	41,729
収支		3,991	5,445
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者99,672人の達成	B	利用者数は年度目標を達成した。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	指定管理料44,330千円 提案額44,330千円(100.0%)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- ：対象外(市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	C	事業計画書・提案書のとおり実施されている。
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守 リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	C	C	事業計画どおり適正に人的組織体制が整えられている。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	C	C	適正に施設の維持管理が行われている。
施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	市政だよりやホームページによる情報発信が積極的に行われている。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免 利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	C	アンケートを行い、利用者サービスの充実に努めている。
利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	C	C	適正に事業が実施されている。 自主事業実施により、ふるさと農園の魅力を高めている。
施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成	C	C	優先的に市内業者に発注している。 非常勤職員は全員市内居住者を継続して雇用している。
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 経済農政局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
人件費の決算額が計画額から大幅に減額となったことを踏まえると、支出見積の妥当性に係る評価を「3」とすることについては、再考する余地があるものと認める。	平成27年度	平成29年度は人件費の計画額を精査し、見直しを行った。

※評価3・・・仕様、提案を上回る実績・成果があった。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設内にアンケート用紙及び回収箱を常設し、講座参加者及び来園者から、意見の収集を行った。また、四季のイベント時にはアンケート用紙を配布し、回答者数増加を図った。
	回答者数	119人
	質問項目	(ア)性別 (イ)年代 (ウ)講座を知った媒体 (エ)住居地 (オ)講座の参加経験 (カ)参加したい講座
結果	<p>ア 回答者の性別：男性19% 女性81%</p> <p>イ 年代： 10代24% 20代0% 30代4% 40代8% 50代4% 60代25% 70代27% 80代以上8%</p> <p>ウ 講座を知った媒体： 市政だより35% ふるさと農園内掲示板8% インターネット3% 友人・知人から聞いた23% 近所だから28% その他3%</p> <p>エ 住居地： 市内93%(中央区2% 花見川区74% 稲毛区9% 若葉区0% 緑区2% 美浜区6%) 市外7%</p> <p>オ 講座参加経験： 回答者の内、49.5%が講座に参加経験有。以下内訳 農業体験7% 園芸29% 料理37% 農産加工5% 木工7% 親子5% 刃研5% 祭事5%</p> <p>カ 参加したい講座 回答者の内、73.7%が講座参加希望有。以下内訳 農業体験18% 園芸15% 料理24% 農産加工9% 木工11% 親子8% 刃研7% 祭事8%</p>	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
講座の人气が高く受講できないので、講座数を増やしてほしい。	味噌作り教室の応募が多いため、平成29年度は2回増やした。
収穫体験が楽しいので、収穫体験ができるイベントを多数企画してほしい。	春祭り、収穫祭で小松菜、さつま芋の収穫体験を行っているが、数量に限りがあるので、希望者全員に体験してもらうことは難しい。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な状態で各施設の維持管理を行った。 ・年間利用者数は市内小学校などの受け入れを積極的に行い99,672人であった。 ・千葉市教員10年経験者研修・県立学校等初任者研修・中学生職場体験を受入れた。 ・体験教室はアンケートを基に計画・実施し、前年より7回増加した。 ・計画したイベントはすべて実施し、農業・農村への理解を深める事が出来た。
----------	---	----	--

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・施設維持管理業務については、概ね事業計画どおり実施されていた。 ・自主事業については、積極的に行われているが、毎年ほぼ同じ内容であるため、さらなる来園者増加に向け工夫が必要である。 ・ホームページだけでなく、SNS等を活用した情報発信が必要と考える。
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見

概ね事業計画どおりの事業運営が行われている。
今後とも適正な施設管理に努められたい。